

令和2年度 保護者学校アンケート《付属中》結果のまとめ 令和2年12月 1日実施

NO	質問項目	H28	H29	H30	R元	R2	平均
A	学習指導が行き届いている。	91%	90%	87%	93%	93%	91%
B	生徒(生活)指導が行き届いている。	92%	90%	94%	85%	96%	91%
C	進路指導が熱心に行われている。	78%	87%	77%	67%	65%	75%
D	クラブ活動が活発である。	68%	68%	65%	61%	67%	66%
E	学校行事が盛んである。	94%	93%	91%	92%	58%	86%
F	子どもはよく挨拶をする。	79%	74%	79%	82%	91%	81%
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。	81%	86%	85%	83%	94%	86%
H	子どもは学習習慣が身についている。	69%	66%	68%	82%	61%	69%
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。	51%	40%	45%	41%	33%	42%
J	子どもは楽しく学校に登校している。	88%	91%	87%	87%	86%	88%
K	学校の施設・設備は整っている。	87%	86%	84%	85%	86%	86%
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。	89%	92%	92%	87%	97%	91%
M	学校のホームページは充実している。	77%	86%	86%	79%	88%	83%
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。	90%	94%	84%	93%	88%	90%
		81%	82%	80%	80%	79%	80%

### 評価分析

好意的評価の平均は79%、すでに高止まりを見せている。80%の大台を割ったのは、コロナ禍によって、3密への配慮から学校行事が相次いで中止となり、校外でのボランティア活動もできなくなって、EやIの評価を落としてしまったからである。

学校の真価を問われるA・Bについて、かつてないほど高い評価が出たことは教職員の努力のたまものであろう。しかし、この評価を手放しで歓迎するわけにはいかない。今回最も留意すべきは、Hの学習習慣である。過去最低となった。コロナ禍で新入生の年度当初の指導が思うようにできなかったこと、さらに学力差が学年を追うごとに生まれ、授業についていけない生徒が増えていくことを物語る。早急な対策を講じ、教職員の共通理解の基、取り組んでいきたい。

LとMについては、六年制とほぼ同じ傾向が出ている。保護者の学校への信頼性の高さがうかがえる。また、ホームページへの関心が意外なほど高かったのは、コロナ禍で学校から発信される情報に関心が集まったからだろうか。いずれにしても更新を速やかに行い、保護者に飽きられないように、またよい情報が口コミを通じて広まるように、この方面について一層の創意と工夫が必要である。

令和2年度 保護者学校アンケート《普通科》結果のまとめ 令和2年12月 1日実施

NO	質 問 項 目	H28	H29	H30	R元	R2	平均
A	学習指導が行き届いている。	71%	78%	77%	73%	82%	76%
B	生徒(生活)指導が行き届いている。	80%	82%	84%	80%	86%	82%
C	進路指導が熱心に行われている。	72%	76%	78%	74%	83%	77%
D	クラブ活動が活発である。	80%	85%	84%	81%	85%	83%
E	学校行事が盛んである。	79%	81%	82%	80%	79%	80%
F	子どもはよく挨拶をする。	68%	73%	74%	73%	86%	75%
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。	74%	74%	81%	76%	91%	79%
H	子どもは学習習慣が身についている。	46%	47%	47%	47%	52%	48%
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。	31%	33%	30%	35%	27%	31%
J	子どもは楽しく学校に登校している。	84%	85%	86%	81%	93%	86%
K	学校の施設・設備は整っている。	74%	76%	81%	72%	74%	75%
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。	79%	82%	84%	78%	79%	80%
M	学校のホームページは充実している。	57%	64%	70%	65%	81%	67%
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。	80%	84%	81%	84%	79%	82%
		70%	73%	74%	71%	77%	73%

### 評価分析

今回、Fの挨拶・Gのルールで、それぞれ評価が昨年比で10%以上増加し、生徒がけじめ正しく学校生活を送っていることがわかる。生徒アンケートと保護者アンケートの項目内容は、同じことを、それぞれの立場にふさわしい表現で言い換えているに過ぎないが、この2点について、それぞれの評価はきわめて近い。項目によって、生徒と保護者に大きな隔たりがあるものとそうでないものがあり、両者の思いの違いが伝わってきたいへん興味深い。

まず、好意的評価全体の平均値が77%に達し、過去最高となった。この平均値は生徒アンケートにおいては75%となり、ほぼ等しい。ところが、前年比で見ると、保護者の6%に対して、生徒はなんと15%も増えている。それぞれのまとめの表を一目見ただけで、ここ数年間は全体的に保護者の評価は甘く、生徒の評価は辛いということがわかる。しかし今回、この増加率の違いから、保護者の評価を額面通り信じることはできないだろう。Nの連絡文書にその証左を見て取れる。

そういう意味で印象的なのは、Lの教職員の対応である。他の項目がことごとく評価を上げているのに、これだけは変化しなかった。そして、この項目で六年制との差も最が大きく開いた。生徒・保護者対応について、研修や助言による対策が必要である。

令和2年度 保護者学校アンケート〈六年制〉結果のまとめ 令和2年12月 1日実施

NO	質 問 項 目	H28	H29	H30	R元	R2	平均
A	学習指導が行き届いている。	81%	80%	74%	86%	88%	82%
B	生徒(生活)指導が行き届いている。	79%	88%	83%	82%	97%	86%
C	進路指導が熱心に行われている。	76%	79%	76%	82%	91%	81%
D	クラブ活動が活発である。	73%	76%	74%	78%	82%	77%
E	学校行事が盛んである。	81%	86%	85%	84%	67%	81%
F	子どもはよく挨拶をする。	80%	74%	75%	79%	91%	80%
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。	83%	82%	81%	85%	88%	84%
H	子どもは学習習慣が身についている。	68%	64%	64%	75%	76%	69%
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。	49%	44%	49%	61%	50%	51%
J	子どもは楽しく学校に登校している。	87%	86%	78%	82%	91%	85%
K	学校の施設・設備は整っている。	62%	68%	72%	80%	85%	73%
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。	84%	79%	77%	84%	97%	84%
M	学校のホームページは充実している。	63%	74%	70%	72%	88%	73%
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。	81%	91%	83%	92%	86%	87%
		75%	77%	74%	80%	84%	78%

### 評価分析

好意的評価の平均が年々高まり、ついに84%に達した。昨年まで六年制の評価は常に付中よりも低い傾向にあったが、今年度付中の79%をあっさり抜き去った。特に、A・B・Cの、学校評価の核心とも言える項目で順調に評価を伸ばしたことは、日頃の生徒の様子を見ても頷けることである。

Dのクラブ活動は、クラブ数が少なかった付中からクラブ数の多い高校に進学し、生徒が充実した学校生活を過ごしていることへの評価かと思われる。Eの学校行事の評価が落ち込んだのは、コロナ禍の影響と言うしかない。それは、昨年少し上向いたIのボランティア活動についても言えることだ。

最後に、今回最も注目したいのは、Lの保護者対応である。この項目に保護者の学校への信頼性の高さが表れている。また、Mのホームページへの関心が意外なほど高かったのは、コロナ禍で学校から発信される情報に関心が集まったからだろうか。いずれにしても更新を速やかにしていかなないと、保護者の満足は得られない。この方面での体制強化が必要である。